

瀬戸石ダム・発電所 今後の台風時期に備えた対応について（2024年8月）

瀬戸石ダム・発電所(熊本県葦北郡芦北町・同球磨郡球磨村)について、台風時期を迎えるにあたり、出水に備えた対応をお知らせするとともに、流域の安全・安心に向けた取り組み状況をお知らせいたします。

1. 出水時における情報の周知・提供について【資料 1】

瀬戸石ダムに関する情報について、様々な手段により周知・提供しています。

なお、当社がお知らせする放流量等の情報はダム地点のものであり、避難等については行政から提供される情報等をもとにご判断ください。

今般、下記の通りテレホンサービスの電話回線を増設致しました。

お知らせする内容 最新の瀬戸石ダム地点の流量（30分毎）

電話番号:TEL 0120-340-405（フリーダイヤル）／TEL 0966-83-0061（有料ダイヤル）

TEL 0966-65-0017（有料ダイヤル）※増設

TEL 090-6243-1469（有料ダイヤル）※増設

2. 下流警報設備の改善【資料 2】

「令和 2 年 7 月豪雨」（2020 年）で被災した下流警報設備について、翌年の出水期前（2021 年 5 月末）までに復旧し、その際、可能な範囲で装置の取付け位置を高くする対策を行いました。

加えて、「令和 2 年 7 月豪雨」と同規模の出水が発生した場合、浸水するおそれが残っている一部の警報設備を、より高い場所に順次移設することとしています（2026 年度完了予定）。なお、移設完了前に大規模出水が発生する場合も想定し、仮に浸水により警報設備が使用できなくなった場合でも、洪水量 $2,000\text{m}^3/\text{s}$ 以上が流下時に点灯する 5 色表示の警告灯（パトライト）を設置済です（移設済の 2 局を除く 11 局）。

3. 瀬戸石調整池における通砂／排砂運用等

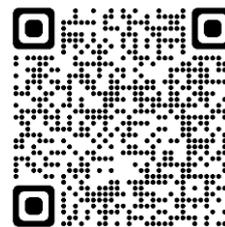
瀬戸石ダムでは、出水期間中に川の流れを活用した通砂／排砂運用を行うことで、堆積土砂量の低減を図っています。今年度も 6 月より通砂／排砂運用を実施中です。出水期後は、それらの状況調査の結果を踏まえ、堆積土砂の排除を実施してまいります。

今後も土砂排除や出水時の通砂/排砂運用により堆積土砂の低減に努めてまいります。

なお、当社ホームページにて、「通砂/排砂運用情報」等が確認できます。

(閲覧方法)

右の QR コードを読み込んでいただくか、
次の URL からご覧ください。



https://www.jpowers.co.jp/bs/renewable_energy/hydro/seto/safety.html

4. 瀬戸石ダムの安全性 【資料 3】

今年 6 月に実施した変位測量等の結果において、特に変化は認められず、ダムの安全性に問題は無いことをあらためて確認しております。今後も調査・確認を継続してまいります。

5. 瀬戸石ダム事前放流による水位低下 【資料 4】

瀬戸石ダムでは、大きな出水が予想される場合に、2020 年 5 月に河川管理者、ダム管理者および関係利水者との間で締結した「球磨川水系治水協定」に基づき事前放流を実施し、調整池の水位を低下させ空き容量を確保するとともに、通砂／排砂により同容量の維持・拡大を目指す運用を実施しています。

大きな出水となった 2022 年 9 月の台風 14 号や 2023 年 8 月の台風 6 号において、事前放流により容量の確保に努めました。

なお、2023 年度からは、6 月～9 月の間、通砂／排砂運用によりダム水位を更に低下（最大容量 680 万 m³ から 870 万 m³ に拡大）させる運用を開始しています。

6. 瀬戸石ダムの連絡橋の通行

連絡橋の補修は、上下流の道路・橋の復旧状況を踏まえ、2023 年 10 月より開始（工事完了は 2026 年 5 月を予定）しています。

工事期間中は全面車両通行止めですが、6 月 1 日から 9 月 20 日の間は許可車両・緊急車両のみ通行可能となります。

当社は、今後も流域の皆さまの安全・安心のために必要な対応や改善を継続しながら、発電所の安全運転に万全を期してまいります。

以 上

<添付資料>

【資料 1】 瀬戸石ダム 球磨川増水時のお知らせ

【資料 2】 瀬戸石ダム 下流警報設備の改善

【資料 3】 瀬戸石ダム ダムの変位測量

【資料 4】 瀬戸石ダム 事前放流による水位低下